

平成 25 年度第 4 回熊本市中央区まちづくり懇話会 議事録（要旨）

【日 時】：平成 26 年 2 月 18 日（火） 14：00～16：00

【場 所】：KKRホテル熊本 1 階 有明

【出席委員】：14 名出席

荒木委員、今坂委員、岩崎委員、古賀委員、佐竹委員、杉光委員、谷口委員、徳山委員、
新田委員、水野委員、毛利委員、山下委員、吉田委員

【議事要旨】

1. 開会
2. 議事

平成 26 年度まちづくり推進事業について

古賀会長より本日の会議の進め方、及び中央区まちづくり事業に関する協議結果を区長に報告したことにについて報告

毛利委員 「お宝探検隊作業部会」について報告

質問・意見

杉光委員 26 年度はまずはじめに一新校区のまち歩きをするということだが、年度内にお宝マップ作成までやるのか。

毛利委員 一新校区については今あるお宝をどこまで載せるのか検討する必要があるが、その他の校区についても、順次お宝探検とマップ作成をやっていただくことを考えている。

山下委員 マップ作成は、中央区単位か、校区単位か。

毛利委員 まずは校区単位のマップを作成し、最終的には中央区のお宝マップができればいいと思っている。

新田委員 お宝は、誰がどのようにして決めるのか。ジャンルなど決めていくのか。

毛利委員 これがお宝というのは個人によって違う。話し合いの中で決めていくことになるが、ジャンル等もカテゴリー別で決めておくとやりやすくなると思う。

古賀会長 お宝の選定も大事だが、それまでの校区内で議論しながらのグループワークがこの事業のねらいの一つでもある。お宝発見の議論の中で、自分の校区の魅力を発見することもできる。また、他の校区のまち歩きに参加することもとてもいい事なので、まち歩きをする際は、他の校区に参加を呼びかけてほしい。

杉光委員 「水前寺賑わいづくり支援事業作業部会」について報告

質問・意見

佐竹委員 10月12日の大にぎわい市やみずあかりとの連動について、広報だけでなく動線含めたところの計画はあるか。

杉光委員 熊本城からのビンゴウォークラリーや、水前寺賑わいまつりの特典入りの半券つきチラシを配布して、来場者を呼び込む手法等を検討している。

今坂委員 水あかりとの連動であれば夕方になるのか。当日は、校区の運動会が行われるところもあり、夕方から参加する住民も多いと思われるので。

杉光委員 午後からの開催予定なので、夜までイベントが続くことになると思う。水あかりとの連動については、今後実行委員会が立ち上がったから、夜のイベントも検討していきたいと思っている。

毛利委員 すばらしい計画なので、区内全部でぜひ参加したいと思うが、参加することが応援になると思うので、各校区の子どもから高齢者まで、水前寺に興味を持つ人にビンゴウォークラリー等で参加を呼びかけてほしい。

杉光委員 子どもたちも含めて、多くの人に参加の呼びかけをしていきたいし、上通、下通の商店街も協力も得たいと考えている。また、来ていただくことで、水前寺の歴史文化を多くの人に知っていただきたい。

古賀会長 この作業部会の特徴は、イベントの開催に関する実行委員会を立ち上げるということ。中央区のまちづくり全体のモデルケースにもなるのではないか。

水野委員 「アクティブシニア増殖プロジェクト作業部会」について報告

質問・意見

毛利委員 このプロジェクトは、何とかうまく使えないかと思う。同じ思いを持つ人が、グループ化して地域の中に入って地域で動いてもらいたいと思う。

水野委員 まさにそうなってほしいと思う。これまでやってきたことを地域社会の中で活かせるよう進めて生きたい。

徳山委員 アクティブシニアの年齢層はどのあたりの年齢層で、募集枠等も決めているのか。

水野委員 どこからどこまでというのは決めていない。どんどん増殖させていくことを目的としているので、“そういうことがやりたい”と思う人は全員対象となる。緩やかな感じでつながらながら進めていきたい。

古賀会長 増殖する仕掛けを昭和カルチャーを使って来年度で検討することになると思う。よって、27年度でその具体的な取り組みが見えてくるのだろう。

今3つの作業部会からの報告があったが、これらの報告について了承したということによろしいか。

(異議なし)

事務局 「平成26年度まちづくり推進経費(案)」について説明

質問・意見

山下委員 区だよりを全世帯に配布するということが、市政だよりと重複するようなことはないか。

事務局 市政だよりの区のページとは重複しない内容を掲載していく。

古賀会長 この平成26年度のまちづくり予算、これが初めての市民手作りの予算になるのではないかと思う。

ここから委員にフリートーキングで意見を伺いたいともう。

前半は、「中央区まちづくり懇話会の進め方、推進体制について」、後半は「中央区のまちづくりの方向性について」、この2点について意見を伺いたいと思う。

まず、前段のまちづくり懇話会の進め方、役割等についての意見を求める。

新田委員 静岡でもこのようなまちづくり懇話会の委員をやっていたが、静岡は数年前に政令指定都市になった都市であり、熊本市と進め方も違っていた。いま、中央区の中の水前寺の活性化に取り組んでいるところだが、まだ中央区全体についてはわからないことが多い。この懇話会に参加するうちに熊本市や中央区のことがだんだんわかるようになり、参考になった。

水野委員 まちづくり懇話会の中だけでなく、中央区の中で自由に話し合う機会がほしい。このようなきっちりした会議の場ではなく、フラッと集まって子育てや、アートなどそれぞれに分かれて話ができる場があればいい。

佐竹委員 一昨年の市民協働で創造都市について、ワールドカフェスタイルでワークショップをやった。そんなスタイルで、誰でも参加しやすいように工夫して懇話会委員も交えてワークショップをやったら、まちづくりは区民みんなでやるという意識が出るのではないか。

古賀会長 集まるような場が多いというのは中央区の資源のように思う。

谷口委員 まちづくりに関して地域で連携して取り組んでいるが、懇話会で様々な情報を習得できたように思う。またワークショップ等で悩みや困ったことなどを話し合っ、それらを取りまとめて懇話会へ報告するような、そんな話し合いの場があればいいと思う。

古賀会長 事務局に他の 4 つの区の取り組みの仕方について報告を依頼しているが、来年度の第 1 回の懇話会において、共有できればいいと思っている。

毛利委員 懇話会はいろんな意見が出るのでまちづくりの形が見えてくると思うが、協議結果を各まちづくり交流室の校区自治協議会の場で報告をお願いしたい。また、それぞれのまちづくり事業が懇話会の中で生まれてきたものということを広報してほしい。そうすれば、区民もまちづくりに対し、自分の意見が反映されることがわかると思う。

今坂委員 作業部会が設置されている事業で、特に自分の関心のあるものについては、是非日程を教えていただき、作業部会に懇話会委員も出席できないか。現在は結果報告を受けているが、どのようにして協議がなされたかがわかからない。協力できるようであれば参加したい。

水野委員 作業部会員としては、懇話会委員に関わってもらうのは大事なことだし、入ってきていただくと大変ありがたい。

古賀会長 この件については、来年度の第 1 回懇話会で協議しようと思うが、事業に対する専門的知識に関わらず、協力をしていただける委員さんには作業部会に入っただけで方向で検討したいと思っている。

新田委員 静岡でやっていた懇話会は、このような形ではなく円卓に分かれてそれぞれの意見をざっくばらんに、かつフランクに出し、それを集約するようなやり方だった。熊本でも同じようなやりかたができればいいと思う。

古賀会長 懇話会発足の際の市議会とのやり取り、形式を整えるのが重要だったが、「参画の拡大」、「協働の推進」について、行政、議会、市民の信頼関係を築きながら 2 年目以降でもっと自由度を高めて進めていきたいと思う。

ここから後段の協議「まちづくりの方向性」について意見を伺いたいと思う。

佐竹委員 佐賀市から福岡に行くのに高速バスを使って料金 1,000 円で 1 時間で行けることを知って、福岡市の商業的な魅力を改めて知ったところ。そういう点では福岡市にはかなわないが、人と人が触れ合いつながらまちができていくのが中央区の生き残る方法だと思う。歴史、文化等を活用して世代を超えての交流ができると思う。

徳山委員 子育て中の人が小さい規模でいろんなところで集まって話をしているが、たとえば子どもの遊び場についてどこに相談したらいいのか戸惑うことなどがよくある。区ができて少し身近になったような気がするが、そのような地域の悩みを吸い上げてくれるような仕組みができればいいと思う。

毛利委員 中央区にはハードがたくさんあるが、ハードよりソフトで人が集まる体制が、懇話会でできていったらいいと思う。

谷口委員 中央区は一人暮らしの高齢者が多い区であり、子どもにも声がかけにくい状況もある。これからは、懇話会からのいろんな発信により、高齢者と子どもに優しい区になってほしいと思う。

今坂委員 校区運動会を毎年やる校区、隔年でやっている校区など様々だが、参加すると楽しい。将来的には校区対抗運動会をやったら盛り上がるのではないかな。

古賀会長 市域全体でやっているところは久留米市で、久留米オリンピックと銘打ってされている。スポーツを通じてまちづくりをやっているところは、全国でも多い。

谷口委員 砂取校区は青少協主催で歩くイベントをやっているが、今年は高齢者を交えて体協も参加して、健康をひとつのキーワードでやったところ。

古賀会長 校区の日ごろの連携による取り組みの事例を紹介いただいたところだが、3つの作業部会を取り上げて言うと、お宝探検隊が「子ども」、水前寺賑わいづくり支援が「若者」、アクティブシニア増殖が高齢者予備軍としての「シニア」というように3つの世代がうまくつながっていくと面白いのではないかな。来年度事業が楽しみであり、改めていい提案がなされたように思う。

その他について事務局から何かないかな。

事務局 26年度まちづくり懇話会スケジュール（案）及び27年度事業アイデア提案等について説明。

古賀会長 ただいまの説明について何か質問はないかな。

（質問なし）

古賀会長 それではこれをもって第4回中央区まちづくり懇話会の議事を閉じたいと思う。